



▲光回廊の準備をする地域の人達

ほたる光回廊

【大野地域市民センター】

土山地域には多くのほたるのスポットがあり、稲川周辺もその一つです。「ほたるの宿今宿」では県の農村まるごと保全事業を受け、数年前から「ほたる光回廊」の取り組みが行われています。

今年6月下旬、今宿公民館前から稲川まで南北に延びる道路沿いにLEDライトを入れたペットボトルを並べ、川沿いまで柔かな光で照らしました。自動車や懐中電灯の強い光がほたるを刺激しないよう、自然を守りたいという地域の想いが込められています。

多羅尾代官陣屋跡保存会が秋の公開に向け清掃活動を実施
【多羅尾地域市民センター】

8月1日、多羅尾代官陣屋跡保存会が同敷地内の清掃活動を実施され、32人の会員が草刈りや伐採木の整理に心地よい汗を流されました。

今後秋の公開に向け各種準備が進められる予定です。

また、この清掃活動による伐採木は保管されていますので、薪などでご入用の方がおられましたら、多羅尾地域市民センター（☎85-0001）までお問い合わせください。

▲玉切りをする会員の皆さん



祇園祭り「団扇取り」

【甲南第二地域市民センター】

甲南町新治区では、7月19日に祇園祭（津島神社祭）が開催され、その中で恒例となった「団扇取り」が行われました。

団扇は疫病を打ち払うものとみなされ、神社に奉納されるやいなや争ってこれを奪い合うという伝統行事に基づいたものでした。現在ではその団扇にお菓子などを付け、未就学児、小学校1〜3年、4年〜6年、中学生、女性、一般の部という各部に分けて取り合うという、楽しみを込めたものとなり、帰郷されたご家族ともども、にぎやかな行事となりました。



▲団扇取り広場の様子

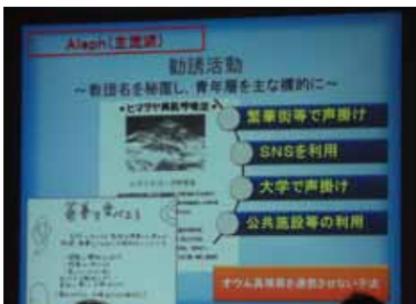
安心・安全な生活のために… オウム対策学習会・抗議集会

【柏木地域市民センター】

柏木地域では、オウム真理教（現行アレフ）に対する取り組みが活発に行われています。

7月24日には、オウム対策学習会が開催され、公安調査庁からオウム真理教の現況や県内の教団施設内の様子、6月に実施された施設の立入検査の状況を写真などにより詳しく説明していただきました。

8月30日の抗議集会では、シュプレヒコールや教団施設前での声明文の朗読が行なわれました。今後も、地域では継続した取り組みが行なわれます。



▲公安調査庁による、オウム対策学習会資料の一部

自然とぬくもりいっぱい の甲南第三小学校

甲南第三小学校は甲南町野川にあります。その自然に恵まれた立地を活かし、愛鳥モデル校としてさまざまな方法で愛鳥教育に取り組んでいます。また、今回の取材を通じて、地域の農園と子どもたちのつながりを感じることができました。

全校で愛鳥教育に取り組む

甲南第三小学校は、昭和46年から愛鳥モデル校として愛鳥教育に取り組んでいます。昭和54年、学校の鳥を「カワセミ」と決定し、翌年には『カワセミの歌』が完成しました。その歌は、現在に至るまで35年間歌い続けられているそうです。さらに、鳥の鳴き声のチャイム、毎年子どもたちが決める学級の鳥など、その取り組みは熱心で、愛鳥委員会を中心とした「愛鳥の集い」は学校の伝統です。

冬季になると中庭に鳥のエサ台を用意し、いろいろなエサを置いて何が一番好きかなどを調べているようです。また、高学年になると中庭に来る鳥の案内などもしているそうです。「愛鳥マップ」も作成されています。自ら学習した知識で鳥について紹介するスタイルは、子どもたちの向上心を刺激するものだと感じました。

農園と子どもたちのつながり

甲南第三小学校の児童40人が6月26日、観光ブルーベリー園「宮ベリー」で収穫体験に参加しました。

甲南町野川の「宮ベリー」は8年前にオープンし、16品種780本のブルーベリーを栽培されています。代表の増田さんは、誰も



▲収穫体験をする児童たち



▲愛鳥マップ

作っていない珍しい作物にチャレンジしようと研究し、ブルーベリーに辿り着きました。土壌が粘土質であることから地植えには不向きで、バッグカルチャー法（袋栽培法）という特殊な栽培をされています。

収穫したブルーベリーの味に、「今年もおいしい」と児童全員笑顔いっぱい喜んでいました。収穫体験の前には児童たちは、木を枯らす毛虫や雑草などを取り除く作業のお手伝いもしてくれました。

問い合わせ
甲南第三小学校 ☎86-2038

まちかど

特派員のページ

こうかまちかど特派員



こにし ゆみ
小西 裕美